

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
2020年度事業報告

当財団の2020年度の事業活動は、以下の通りである。

1. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター

- ① フォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続し、発展させた。
- ② アカデミー運動の理念に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組んだ。

(2) 関西セミナーハウス

- ① 当財団の事業展開の拠点として、関西セミナーハウス活動センターの公益目的事業に施設を提供した。
- ② 当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊施設及び会議場を諸宗教団体、労働組合、文化・社会活動団体、教育機関・学会・研究会等に供した。

(3) 広報活動

- ① 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター及び関西セミナーハウスの活動状況について、機関紙「はなしあい」、ウェブサイト等によって継続的に情報を発信した。
- ② 機関紙、ウェブサイト等により、年度事業計画、収支予算、事業報告、決算報告、その他当財団に関する情報を公開した。

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

公益目的利用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出を行い、その収益の一部を公益活動に資した。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を公益活動に資した。

2. 事業運営推進

公益目的事業の推進に当たっては、継続的事業、新規プログラムを問わず、予算計画を持ち、必要財源を確保しつつ、安定的継続可能な運営を行った。

3. 賛助会員、寄附金

公益法人への寄付により受けられる税制優遇措置を活用し、アカデミー運動を支援する賛助会員および寄附者からの支援を仰いだ。

4. 新型コロナウイルス感染症の影響と対応

新型コロナウイルス感染症の影響は、当年度期首から当財団の各事業に顕著に現れた。とくに当財団最大の事業、関西セミナーハウスの宿泊研修事業に対する影響は甚大となった。4月～9月の6か月間の宿泊人数は、僅か379人と激減し（対前年減少率△95%）、10月1日より臨時休業（8月8日開催の第4回理事会（臨時）にて決議）を余儀なくされている。

この間、持続化給付金（経済産業省）や雇用調整助成金（厚生労働省）などの公的資金を導入し、国税・地方税・社会保険料の延納制度を利用すると同時に、新規設備投資の停止や徹底した固定費の見直しを実施して運転資金を確保するため懸命に努力した。しかし、年度末までに資金不足が懸念されたため、7月17日開催の第3回理事会（臨時）で1,500万円の本部借入（運用基金の取り崩し）を、承認し実行した。

特に、人件費については、従業員の雇用を可能な限り維持するため収入が激減し経営が厳しい状況ではあるが、雇用調整助成金の活用などにより雇用の確保に努めてきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中財団が存続してアカデミー運動を継続するための決断として、やむを得ず職員に対して「雇用契約合意解約」のスキーム（雇用契約を解約し新たに嘱託雇用するもの）を実行するとともに、嘱託、パートの皆さんに対しては3月末の契約満了をもって解約、無期限嘱託に対しては同日で解雇することを決定し実行した。（注）「雇用契約合意解約」のスキームの実行にあたっては雇用関連専門家の指導を受けた。

さらに2020年12月12日開催の第6回理事会（臨時）において、臨時休業の期間を2022年3月末まで延長することを決定するとともに、臨時休業中であっても事業再開や新規事業などに実現可能性が見いだせた場合は、理事会の承認のもとで、事業等を再開することも追加で決議した。

I 財団本部

1. 組織（2021年3月31日現在）

- | | | |
|---------|------|----|
| 1) 理事会 | 理事 | 6名 |
| 2) 監事 | | 2名 |
| 3) 評議員会 | 評議員 | 7名 |
| 4) 事務局 | 事務局長 | 1名 |

2. 会議

- | | | |
|---------|--------|----|
| 1) 理事会 | 定時理事会 | 2回 |
| | 臨時理事会 | 6回 |
| 2) 評議員会 | 定時評議員会 | 1回 |
| | 臨時評議員会 | 3回 |

3. 広報

機関紙「はなしあい」発行

4月（613号）、5・6月（614号）、7・8月（615号）、

9・10月(616号)、11・12月(617号)、1・2月(618号)
(計6回)

4. 収益事業

当財団が持分を有する日本キリスト教会館の一部を以下の5団体に賃貸した。公益財団法人早稲田奉仕園、日本基督教団出版局、特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・東京、日本基督教団全国教会婦人会連合、公益財団法人東京YMCA

II 関東活動センター

1. 組織(2021年3月31日現在)

- | | | |
|----------|------|----|
| 1) 運営委員会 | 運営委員 | 9名 |
| 2) スタッフ | 所長代行 | 1名 |
| | 事務局 | 1名 |

2. 会議 運営委員会 5回

3. プログラム活動

1) フォーラム事業

(1) 関東フォーラム 宗教対話 I

特別講座「日本キリスト教史を読む」番外編

2020年9月24日(木)

「スペイン風邪(1918-1920年)の時、キリスト教会はどうであったのか」講師・戒能信生(千代田教会牧師)

会場・早稲田奉仕園スコットホール

参加者約50名

(2) 関東フォーラム 宗教対話 II

第6回柏木義円公開講演会

講演「国家と教会 柏木義円の闘い」

共催 柏木義円研究会

2020年11月14日(土) Zoomでの開催

講師 坂井誠(同志社史資料センター研究員)

参加者 35名

(3) 関東フォーラム・宗教対話 III

連続講座「悪と苦難の問題を考える」

講師・本多峰子(二松学舎大学教授)

第1回 2020年9月17日(木)「一神教においてなぜ悪や苦難が問題なのか」参加者9名

第2回 2020年10月15日(木)「アウグスティヌスの自由意志論とエイレナイオスの成長の糧論」参加者8名

第3回 2020年11月19日(木)「現代の神議論 プランティンガー、ジョン・ヒック、プロセス神学の神議論」参加者8名

第4回 2021年3月18日(木)「旧約聖書に現れた苦難の

問題 ヨブ記、詩編、シラ書」参加者4名

第5回 2021年4月15日(木)「福音書のイエス」参加者5名

第6回 2021年5月20日(木)「アウシュヴィッツのユダヤ教徒の応答」参加者 名

(4) 関東フォーラム・宗教対話 IV

連続講座「教会と音楽 讃美歌を中心として」

講師・小海基(荻窪教会牧師)

全6回シリーズでの開講を予定していたが、発声をするプログラムなので、Covid-19の感染拡大を考慮して今年度は中止

(5) 連続講座「LGBTと教会」(5回シリーズ)

講師・中村吉基(代々木上原教会牧師)

Covid-19感染拡大のためにZoomでの開講を計画したが、当事者の秘匿性を確保するためリモートでの開講が困難との講師の意向により、今年度は中止とし、次年度以降に開講予定

2) 研修・セミナー・体験交流事業

(1) 神学生交流プログラム

第11回神学生交流プログラム

2021年3月16日(火)～18日(木)

校長 神田健次(関西学院大学名誉教授)

講師 廣石望(立教大学教授)

委員 古賀博、今野暎、戒能信生

Covid-19の感染拡大が収束しない状況で、二泊三日の交流会は開催が困難と判断し、次年度に延期することとした。

(2) 研究会 ボイストレーニング

「さらに豊かな礼拝のためにことばを届けるトレーニング」第6期

会場 日本基督教団巣鴨ときわ教会

講師 友野 富美子(日本基督教団吉祥寺教会副牧師)

第1回 2020年9月15日(火) 中止

第2回 2020年10月20日(火) 参加者7名

第3回 2020年11月17日(火) 参加者5名

第4回 2020年12月15日(火) 参加者5名

第5回 2021年1月19日(火) 中止

第6回 2021年2月16日(火) 中止

第7回 2021年3月16日(火) 中止

(3) 聖書を教材として用いる講座

①聖書を読む講座Ⅱ(全面Zoomで開講)

新しい聖書の学び「マルコ福音書をジックリと読む」Ⅲ

共催 早稲田奉仕園

会場 早稲田奉仕園スコットホール

講師 山口 里子 (日本フェミニスト神学・宣教センター共同
ディレクター)

申し込み登録数約80名

第1回 2020年9月8日(火) 参加者76名+α

第2回 2020年10月13日(火) 参加者50名+α

第3回 2020年11月10日(火) 参加者48名+α

第4回 2021年1月12日(火) 参加者46名+α

第5回 2021年2月9日(火) 参加者56名+α

②聖書を読む講座Ⅱ

「上林順一郎先生と一緒に聖書を読もうーこの時代の中で聖
書からのメッセージを読み解く 創世記Ⅰ」

講師 上林順一郎 (日本基督教団隠退教師)

会場 早稲田奉仕園セミナーハウス

対面と Zoom の共用で開講

第1回 2020年9月23日(水) 参加者21名

第2回 2020年10月28日(水) 参加者18名

第3回 2020年11月25日(水) 参加者17名

第4回 2021年1月27日(水) 参加者16名

第5回 2021年2月24日(水) 参加者15名

第6回 2021年3月24日(水) 参加者13名

Ⅲ 関西セミナーハウス活動センター

1. 組織 (2021年3月31日現在)

1) 運営委員会 運営委員 11名

2) スタッフ 所長代行 1名

事務局 1名

2. 会議 運営委員会 10回

3. プログラム活動

1) フォーラム事業

(1) 修学院フォーラム 社会

目的 歴史的側面から「日本キリスト教思想史」を学び、「エネ
ルギー問題」(第9回)を通して日本の将来の指針を探り、
「キリスト教と政治的課題」から、現代日本の政治社会
問題の解決に向けて取り組み考える。

第1回 題『『誰にも言わないと言ったけれど』を「今」読むと
いうことージェイムズ・H・コーンとブラック・ライヴ
ズ・マターを繋ぐ霊性ー』

2020年9月19日(土) ウェブ、会場併用

講師 榎本 空 (ノースカロライナ大学チャペルヒル校
人類学専攻博士後期課程)

参加者 39名

第2回 題「キリスト教徒はコロナ禍をどう見るか」
2021年2月7日(日) ウェブ、会場併用
講師 佐藤 優 (作家、元外務省主任分析官)
参加者 67名

第3回 「エネルギーを考える」第9回
題「原子力に頼らない未来の創り方」
2021年2月20日(土) ウェブ、会場併用
「日本のキリスト教会が脱原発を訴える理由」
講師 久保 文彦 (上智大学神学部講師)
「電気を使って、社会を変える！」
講師 竹村 英明 (グリーンピープルズパワー株式会
社 代表取締役)
参加者 23名

(2) 修学院フォーラム いのち

目的 賛成論と慎重論が拮抗する「こうのとりのゆりかご」につ
いて、その理想と現実から学び共に考える。ゲノム編集は
何を可能にするかについて考える。

第1回 題「すべての命を大切に NPO 法人こうのとりのゆり
かご in 関西の理念と現状」
2021年3月13日(土) ウェブ、会場併用
講師 人見 滋樹 (NPO 法人こうのとりのゆりかご in
関西 理事長、京都大学名誉教授、日本胸部外科
学会名誉会長)
参加者 47名

第2回 題「ゲノム編集の光と影」
2021年3月20日(土) ウェブ、会場併用
「ゲノム編集によって何が可能になるのか」
講師：中山 潤一 (基礎生物学研究所クロマチン制御研
究部門教授)
「ゲノム編集と倫理・私たちの社会」
講師：土井 健司 (関西学院大学神学部教授。
参加者 27名

(3) 修学院フォーラム 福祉

目的 「浦河べてるの家」の実践から、「宣教と当事者研究」に
ついて学び、考える。

第1回 題「宣教と当事者研究—“精神障がいと教会”の経験か
ら」

2020年8月30日(日) ウェブ、会場併用
講師 向谷地 生良(北海道医療大学教授、社会福祉
法人浦河べてるの家 理事)

参加者 45名

2) 研修・セミナー・体験交流事業

(1) 開発教育セミナー

目的 人権・平和・環境などの地球的課題を参加型学習で学び、
私たちの社会のありようを考える。

第2回 題「民主主義の危機を乗り越える

～多数決で語られる「民意」と公正な社会～」

2020年7月18日(土)～19日(日)

講師 坂井 豊貴(慶應義塾大学経済学部教授)

参加者 13名

第3回 題「中東の今とこれからの日本～紛争地のリアルから
考える～」

2020年9月26日(土)～27日(日)

講師 西谷 文和(フリージャーナリスト)

参加者 19名

第4回 題「在日外国人と創る新しい共生社会～移民の視点か
ら学びなおす～」

2020年10月25日(日)

講師 : アンジェロ・イシ(武蔵大学社会学部教授)

参加者 23名

第5回 題「「これからの食と農のあり方を考える～タネ・食卓・
地域～」

(フィールドワークとセミナー)

2020年11月29日(日)

講師 松平 尚也(農家ジャーナリスト・AMネット)

参加者 14名

第1回、第6回 開催中止

(2) お茶のこころと宗教のこころプログラム

目的 お茶と俳句を楽しみつつ、聖書の言葉を味わう。

題「お茶のこころと宗教のこころ

「D.ボンヘッファー(1906～1945)の遺稿『倫理』を新版で読む」

開催中止。

(3) 展示、講演会事業

もみじまつり

開催中止。

IV 関西セミナーハウス

1. 組織（2021年3月31日現在）
 - 1) 経営委員会 経営委員6名
 - 2) 人事委員会 人事委員5名
 - 3) 館長 1名
 - 4) スタッフ 14名
2. 会議
 - 1) 経営委員会 7回
 - 2) 人事委員会 4回
3. 特記事項
 - 1) 利用状況（カッコ内は前年度比）
 - ① 年間の延宿泊者数（10月1日以降休館）

| | |
|----|-----------------------|
| 上期 | 379名（8%） |
| 下期 | 0名（0%） |
| 合計 | 379名（5%）（前年より7,075名減） |
 - ② 個人団体比率

| | |
|----|-----------------------------|
| 団体 | 320名（構成比84%）（6,193名減、前年比5%） |
| 個人 | 59名（構成比16%）（882名減、前年比6%） |
 - 2) 公益目的事業と収益事業分類別
 - (1) 宿泊分類別
 - ① 公益目的事業

| | |
|-------------|-----|
| ・アカデミープログラム | 37名 |
| ・キリスト教諸団体 | 6名 |
| 合計 | 43名 |
 - ② 収益事業

| | |
|---------|------|
| ・一般諸団体 | 174名 |
| ・一般企業 | 81名 |
| ・人材育成法人 | 22名 |
| ・個人 | 59名 |
| 合計 | 336名 |
 - (2) 当日利用分類別

| | |
|-----------------|------|
| 公益目的事業 | |
| ・アカデミープログラム | 113名 |
| ・キリスト教諸団体 | 1名 |
| ・教育関係・学会・研究会 | 75名 |
| ・労働組合、文化・社会活動団体 | 60名 |
| ・一般諸団体 | 5名 |
| 合計 | 254名 |
 - (3) 宿泊及び当日利用合計

| | |
|--------|-------------|
| 公益目的事業 | 297名（46.9%） |
|--------|-------------|

収益事業

336名 (53.1%)

(以上)